



たいぎ 議会だより

No.198

2024
令和6年
10月発行



令和6年度 町民登山会「アポイ岳登山会」

第3回定例会

一般会計予算9,797万7,000円を追加補正…P2～3

決算認定

令和5年度決算審査特別委員会で徹底審議…P4～5

一般質問

5名の議員が5項目を問う ……………P6～8

「生ごみの減量化と資源化の取組について」「農業(酪農・畑作)の生産資材高騰対策について」など

9月7日に様似町アポイ岳で町民登山会が開催されました。

小さな子どもから大人まで、アポイ岳頂上を目指して一歩ずつ足を進めます。晴れ渡る空のもと、笑顔が眩しい一枚です。

発行／北海道大樹町議会

編集／大樹町議会広報広聴常任委員会

らしをより豊かに バス新規車両を購入

条例の一部改正や
補正予算など
23件を審議！！

9月10日から12日の3日間開催された、決算審査特別委員会での白熱議論を経て 令和5年度各会計決算を認定

令和5年度決算認定	歳入総額	歳出総額
大樹町一般会計	93億5,997万8,006円	90億4,143万8,746円
大樹町国民健康保険事業特別会計	7億5,113万3,157円	7億4,779万6,250円
大樹町後期高齢者医療特別会計	1億 344万3,431円	1億 295万5,216円
大樹町介護保険特別会計	7億3,083万1,097円	7億1,955万3,955円
大樹町介護サービス事業特別会計	4億1,287万7,986円	3億8,388万6,574円
大樹町水道事業会計	6億2,666万5,716円	8億4,977万6,158円
大樹町立国民健康保険病院事業会計	11億3,695万6,497円	11億 609万9,667円
大樹町下水道事業会計	3億6,804万1,272円	4億5,470万2,300円

監査委員審査意見書

9月3日の定例会初日、北林代表監査委員から地方自治法に基づく審査結果が公表されました。内容は以下のとおりです。

令和5年度一般会計他各特別会計及び公営企業会計の決算審査は、それぞれの関係諸帳簿及び証拠書類の照合と住民福祉の増進という町行政の本旨に沿った執行が行われているか、に主眼を置き、延べ27日間実施した。

いずれの調書においても法令に準拠して作成、所定の期間内に提出されており、計数に誤りはなく正確であり、かつ関係法令にも適合し、予算の執行も概ね適切に行われたものと認める。



北林 博美 代表監査委員

意見書の提出

経済常任委員会で審議された意見書は定例会最終日に全会一致で採択し、後日、関係大臣に意見書を提出しました。

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負担の少ない循環型社会を形成するため、森林整備事業予算、治山事業予算の十分な確保、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施設の充実・強化を求める。

「意見書」とは…

地方公共団体の公益に関して、議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。国や北海道などの関係機関に意見書を提出して問題を解決するよう要望し、大樹町議会としての考えを表明することができます。

9月3日 定例会初日

一般会計予算 **9,797万7,000円**を追加補正

利用者増加に伴い車両を更新

コミュニティバス運行事業

利用者が増加し、現行の10人乗りの車両では運行に支障があり、今後も利用者の増加が見込まれることから、14人乗りの車両の購入費用を増額補正。

問 菅 敏範 議員
デザイン制作業務の内容は。

答 伊勢企画商工課長
コミュニティバスのラッピングとデザイン料となっている。

移住者を呼び込む 住宅を整備



移住促進事業

ワーキングステイ住宅1戸を整備、管理する費用を増額補正。

事業概要

- 専門的な知識やスキルを持つ方、大樹町に移り起業を考えている方を対象に、7日~60日間住居を貸し出す事業。
- 減少する若年層の移住促進、スキルを活かしたまちづくりの推進が目的。

町内の農業者を支援



強い農業づくり事業

地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の実現に向けて、農業機械を導入し、経営改善に取り組む農業者を支援する補助金を増額補正。

取組内容

農業機械導入(融資主体型)

- トラクター、生育状況撮影用ドローン、ブロードキャスターの導入に係る費用を補助。
- 事業費の10分の3以内で300万円を上限に補助。(経営面積の拡大を目指す者については600万円)

安全のため階段と手すりを設置

観光振興対策事業

冬のワカサギ釣りの安全確保のため、ホロカヤントーの接続通路までの坂に階段と手すりを設置する費用を増額補正。

産業の育成強化を図る



地場産業振興奨励事業

新規申請が見込まれるため、増額補正。

事業概要

- 町内で農林水産業、商工業の振興に関する事業を行う者への経費の一部を補助するもの。
- 補助対象経費の2分の1以内で施設、設備整備費100万円、事業運営費50万円を上限に補助。



算 審 査 特 別 委 員 会

齊藤議長と辻本監査委員を除く10名で徹底審議！

審議し、認定しました。このページでは、委員会での質疑と答弁の一部を掲載しています。



川南団地にあるユースタウン



光地園町営牧場

ユースタウンの入居条件を緩和しては

問 西田 輝樹 委員

ユースタウンの利活用上、年齢や所得基準を緩和しては。

答 奥建設水道課長

10年前と比べ空き戸数が増えたことから、基準を見直す時期と思っており、所管事務調査での意見も踏まえ十勝管内の状況を調査している。今後どのような運営基準が必要か考えていきたい。

自衛隊への名簿提供について

問 志民 和義 委員

当町は自衛隊への名簿提供を行っているか。行っている場合、本人の承諾は得ているか。

答 吉田総務課長

現在、自衛隊からの要請に基づき名簿を提供している。本人からの承諾は法律の定めに応じて同意を取らずに情報提供している状況。管内でも同意を取っている町村もあるので、今後当町でも検討していきたい。

町営牧場の収支は

問 船戸 健二 委員

町営牧場では、長期間にわたり赤字経営が続いていたことから預託料金の改定を行ったが、令和5年度の収支割合は。

答 松久農林水産課長

歳入は8,177万6,000円。歳出は正職員4名の人件費を除き1億4,541万1,000円。収支の歳入の割合は56.2%。

奨学金の免除、援助をするべきでは

問 播間 章浩 委員

奨学金について、人材確保・育成のため大樹町に一定期間働いた場合は奨学金の免除や支払いの援助をするべきでは。

答 黒川町長

そういった取組をしている町村があることは承知しており、内部でも議論をしている。制度設計に向けて情報収集しており、来年度以降に仕組みを考えていきたい。

賛成討論

播間 章浩 委員

繰越財源を除いた実質収支は2億2,348万円の黒字となり、歳入の確保や歳出の削減に対する努力は、十分評価できる。予算執行の内容・成果も効率的かつ適正に執行されていると考える。よって、本案に賛成する。

一般会計決算

志民 和義 委員

滞納整理については、日頃から町職員が力を合わせ高い収納率を上げている。また、昨年度は滞納整理機構への委託案件は1件もなかったことから、滞納整理機構への委託は必要ないと思う。よって、本案に反対する。

反対討論

賛成討論

吉岡 信弘 委員

後期高齢者医療制度は、高齢者の方が安心して医療を受けられるよう構築されたもので、安定した事業運営が行われており、町の事務処理も適切に遂行されていると考える。よって、本案に賛成する。

後期高齢者医療
特別会計決算

志民 和義 委員

後期高齢者医療制度は、発足当初から高齢者を区別することになるとの批判が多く、かつての老人保健制度による事業運営で問題がなかったと考える。よって、本案に反対する。

反対討論



菅 敏範 委員長

令和5年度決

9月10日～9月12日開催

令和5年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の8会計の決算について



大樹中学校前の交差点



再生可能エネルギーの導入施設（太陽光発電所）

学校前の横断歩道の整備について

問 西山 弘志 委員

中学校、高校前の町道の通学路の交差点などには横断歩道がない。生徒の安全を守るために横断歩道を設置する考えは。

答 井上学校教育課長

中学校前の交差点については、雨水枡がありすぐに設置ができないが、学校側とも再度協議して、検討したい。

大樹高校の見学旅行の助成額を見直しては

問 吉岡 信弘 委員

大樹高校の海外見学旅行に伴う費用に対し、国内見学旅行費用の超える分を助成しているが、助成額の増額、あるいは全額を助成しては。

答 黒川町長

高校生への支援は見学旅行だけでなく、住宅や就学支援もあるので、それらを総合的に考え進めていきたい。

庁舎のエネルギー消費量削減の要因は

問 寺嶋 誠一 委員

スマート街区の管理運営費が200万円増加しているが、この再生可能エネルギーの活用により、庁舎のエネルギー使用量が50%減少しているのか。

答 吉田総務課長

再生可能エネルギーの活用により、スマート街区に係る公共施設の電力消費量は10%程度減少している。また、庁舎ではデータに基づきエネルギーの使用量を減らし、快適な環境を保つ取組を行っており、75%程度減少している。

施設の点検回数を見直しては

問 安田 清之 委員

公共施設の自動ドアやボイラーの点検を、安全性や経費削減を考慮して回数を見直しては。

答 黒川町長

自動ドアについては、以前に点検回数の見直しを行った。施設や部署による適切な回数を考え、見直しを行っていきたい。

表決の分かれた議案

※菅委員長は表決に参加しません

議案名	播間章浩	寺嶋誠一	吉岡信弘	西山弘志	船戸健二	杉森俊行	西田輝樹	安田清之	志民和義	菅敏範	結果
令和5年度大樹町一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	原案可決
令和5年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	原案可決

議会のペーパーレス化に向けて

令和5年度決算審査特別委員会では、将来的な議会のペーパーレス化に向けて、本年3月に開催された予算審査特別委員会に引き続き、執行機関側のパソコンの使用を認めました。今後も推進していく予定です。



町民の声を町政に届ける

西山 弘志 議員 …………… P6

◎生ごみの減量化と資源化の取組について

吉岡 信弘 議員 …………… P7

◎道の駅「コスモール大樹」魅力アップについて

志民 和義 議員 …………… P8

◎農業（酪農・畑作）の生産資材高騰対策について

播間 章浩 議員 …………… P7

◎高齢者・障がい者のサポート体制について

寺嶋 誠一 議員 …………… P8

◎公共施設のゼロカーボン政策の取組について

◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は1問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

議員と町長が対面して、1つ質問をして、1つ回答をします。

・事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

質問

生ごみ処理機の購入拡大へPRを

答

町民に使用者の状況を周知して普及を進める



にしやま ひろし 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



Q1 生ごみの減量化と資源化の取組について

質問 今年度から家庭用生ごみ処理機の購入を補助しているが、地域経済の活性化のためにも、町内の販売店での購入に限定しては。

答（黒川町長） 町内で購入いただきたい思いもあるが、町内で取り扱えない機種も多いため、今回は、商工業の振興や発展よりも、生ごみの減量化に取り組んでもらうために幅広く対象としている。

質問 乾燥式の生ごみ処理機では生ごみを10分の1にまで減量することができる。購入拡大のために、ごみ袋の使用量削減などのメリットをPRしては。

答（牧田住民課長） 購入した方にはアンケート調査の協力をお願いしていることから、使用状況や感想などを町民に周知して普及を進めていきたい。

質問 管内19市町村で人口が12番目に対し、新中間処理施設への移行にかかる分担率は5番目に高い。町民はなぜ分担率が高いのか分からない。他の町と比較してごみの量や金額などを公表しては。

答（黒川町長） これまで広報紙でごみの減量化・資源化について周知してきたが、他の町と比較することも有効な手段と思うので取り組んでいきたい。

質問 一般廃棄物処理基本計画において、町の可燃ごみの減量目標を令和11年度までに約14%の減量を図るとあるが、もっと減量すべきでは。

答（黒川町長） この減量目標は現実的な数値となっているので、そこを超えるように努力していく。

ここが聞きたい！ 一般質問



あさひろ 議員
はりま 章浩 議員
あさひろ 議員

記載内容は
要約しています。
詳細は議会中継を
ご覧ください。



質問

成年後見人の養成は

答

体制づくりに取り組みたい

Q1 高齢者・障がい者のサポート体制について

質問 近年、高齢者の増加に比例して認知症高齢者が増加しており、その支援体制が地域社会で重要な課題となっているが、大樹町で認知症予防の取組と認知症高齢者に対する現状のサポート体制は。

答 (黒川町長) 認知症予防の取組は、介護予防教室を毎月開催している。さらに、生活習慣病が認知症発症に関与することから、特定健診などで生活習慣病発症予防をしている。また、認知症サポーターの養成や認知症カフェの運営などを通じ認知症の方にやさしい地域づくりを進めている。

質問 超高齢化社会に向けて、介護従事者の確保や養成が重要であり、そのための助成や介護施設への支援などの施策が必要では。

答 (黒川町長) 介護人材確保のため各町村で奨学金や支援金を交付していることは把握しており、大樹町もその取組が必要か内容を精査して議論を進めたい。

質問 認知症高齢者と自己判断が難しい障がいのある方とその家族が安心して生活できるように、成年後見制度の支援体制と成年後見人の養成が必要では。

答 (黒川町長) 超高齢化社会で成年後見制度を利用する必要性が迫っているが、住民に制度内容が十分に知られていないところがあるため、制度の周知と障がいのある方で家族のいない方などのニーズを把握して、社会福祉協議会と協議し成年後見人の養成の体制づくりに取り組みたい。



のぶひろ 議員
よしおか 信弘 議員

記載内容は
要約しています。
詳細は議会中継を
ご覧ください。



質問

道の駅に大樹独自の目玉を

答

視察などで検討する

Q1 道の駅「コスモール大樹」魅力アップについて

質問 管内では新しい道の駅が建設され人気が高い。大樹インターチェンジの完成が間近であり、道の駅「コスモール大樹」の魅力アップは非常に重要。既存施設の利用と町長の構想は。

答 (黒川町長) 「コスモール大樹」魅力アップ検討委員会を立ち上げ議論している。すぐに建て替えをするのではなく、既存施設で活性化を図るため、運営体制の見直しを優先的に検討する。

質問 フードコートの必要性の意見があったが、スペース的に狭いのでは。また、市街地にあることから、周辺の飲食店と競合しない配慮が必要では。

答 (黒川町長) スペース的には飲食コーナーのようなものが考えられる。飲食店との競合は一定の配慮が必要か委員会で協議する。

質問 道の駅の集客力アップには、他にはない大樹独自のものが大事だと思う。雪印メグミルク大樹工場に道の駅コスモール限定販売のオリジナルのさけるチーズを作ってもらえれば目玉商品になると思うが。

答 (黒川町長) 委員会で視察を予定しており、売り方や地域の産物、商品開発も含めた視点で取り組んでもらう。雪印メグミルクとは懇談の折に、可能であればお願いしたい。

質問 町民からのアイデア募集の考えは。

答 (黒川町長) たいき未来共創会議やブロック別懇談会に参加者からアイデアをいただいた。今後は住民懇談会でも意見やアイデアを確認したい。



寺嶋 誠一 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



公共施設に再生可能エネルギーの導入は

質問

答

施設の配置などに合わせて活用を検討する

Q1 公共施設のゼロカーボン政策の取組について

質問 暖房に重油を使用する公共施設数と年間使用量は。

答 (黒川町長) 公共施設では6か所、令和5年度の年間使用量は約30万リットル。

質問 重油からバイオディーゼル燃料へ切り換える考えは。

答 (黒川町長) 使用済み天ぷら油などの廃食用油を主な原料としているバイオディーゼル燃料は、カーボンニュートラルな燃料として二酸化炭素排出量を抑制できるので、再生可能エネルギーに切り換えていく必要があると考えている。今後、供給面やコスト面、ボイラーへの適合などを調査する。

質問 町内公共施設における木質チップボイラーの導入計画は。

答 (黒川町長) 平成26年度に導入計画を策定してから、晩成温泉、スマート街区に木質チップボイラーを導入した。今後の公共施設の配置などと合わせて再生可能エネルギーの活用を検討する。

質問 町内の家畜排せつ物由来のバイオマスエネルギーにおける現在の進捗状況は。

答 (黒川町長) 町内2牧場からバイオガスを集め、帯広市内にある企業で液化バイオメタンを製造している。その企業と液化する前のバイオメタンガスを公共施設の燃料に活用する協議を行っている。

質問 脱炭素と地球温暖化対策は表裏一体であり、町民、事業者、行政が一体となって総合的に進めなければならぬと考えますが。

答 (黒川町長) 町民の方々と環境問題を身近に話し合い共有する活動は非常に大事。未来共創会議などの懇談会で危険な状況であることを話していく。



志民 和義 議員

記載内容は要約しています。詳細は議会中継をご覧ください。



農業(酪農・畑作)の生産資材高騰対策は

質問

答

生産性向上に向け基盤整備などに取り組んでいる

Q1 農業(酪農・畑作)の生産資材高騰対策について

質問 町の基幹産業である酪農や畑作では、生産資材の高騰により営農に大きな影響が出ており、所得の減少につながるかと考える。現在、町で行っている対策は。

答 (黒川町長) 令和4年度に国の臨時交付金を活用し農業生産資材などの高騰に対する緊急対策を講じた経過はある。現在は取り組んでいる事業はないが、生産性の向上や経営体質の強化を目的とした生産基盤整備や後継牛などの資源確保に取り組んでいる。

質問 さらに手厚い対策を行う考えは。

答 (黒川町長) 国や道の動向や、経済情勢を見ながら、状況に応じて関係機関と協議したい。

質問 現在の状況を考えると、具体的に関係機関と協議を進めては。

答 (黒川町長) 国では、畜産酪農経営安定化対策として、加工原料乳生産者補給金などの対策や長期化する飼料の価格高騰対策が行われている。

質問 直接効果のあるような対策も重要と考えるが。

答 (黒川町長) 国際情勢などを考えると難しい。対象の生産能力を上げる基盤整備は非常に重要と考えている。

質問 国や関係機関に要望しては。

答 (黒川町長) 11月に開催予定の北海道酪農振興町村長会議で国や関係機関に強く要望したい。

第3回
臨時会

議案審議

7月31日開催

補正予算、財産の取得
3件を審議!!

行政報告に対する



質疑と答弁



問 安田 清之 議員

災害用備蓄品の食料について、消費期限が近づき入替えした物を住民に無償配布しては。

答 黒川町長

現時点では海岸線や行政区で行う避難訓練、講習会の時に無償提供している。全量を使用しているわけではないので、残りについては有効活用という部分で今後協議していきたい。



一般会計予算 **2億8,033万7,000円** を追加補正

低所得世帯へ支援金を給付

低所得世帯への支援給付事業

■令和6年で新たに住民税が非課税、もしくは均等割のみの世帯

⇒10万円を給付。

※子育て世帯には18歳以下の子ども一人あたり5万円を上乗せ支給。

国のデフレ対策・定額減税実施に伴い、2つの給付金を支給。

※令和5年度に低所得者支援給付金を受けた世帯は対象外。

■定額減税により減税される額(A)が元の税額(B)より大きい世帯

⇒AとBの差額を1万円単位で給付。

災害対策として人員・環境を整備

災害時相互支援体制構築事業

B&G財団の補助事業を活用し、防災拠点整備費用として、人材育成費、防災倉庫の建設、救命ボートや公用車両の購入費用を増額補正。

問 船戸 健二 議員

外国人の避難者の受入れに際して翻訳機などを導入すべきでは。

答 吉田総務課長

スマートフォンの翻訳アプリで対応する予定だが、必要に応じて有償のものも検討する。

晩成温泉をリニューアル

晩成温泉維持管理費



晩成温泉の改修工事等に係る費用を増額補正。

主な工事内容

- 劣化により曇った浴室ガラスの交換
→晩成温泉の目玉『海が見える温泉』の復活
- 浴室屋外テラスの増設
- 食堂、休憩室、和室にエアコンを設置
- 老朽化により崩落の危険があった屋根のふき替え
- 旧浴室の解体

活性化を図る研修会に議員11名が参加しました。

※内容を要約して掲載しています。

議員研修会

7/3 議会におけるペーパーレス会議システムの活用について

(アートシステム(株)
札幌本社)

■概要

- ・電子化された資料を会議参加者間で共有できるシステムについて、タブレットを使ってその操作方を研修。
議会のペーパーレス化が目的。

■主な機能

- ・発表者がタブレットの電子資料をタッチペンでページをめくると、会議参加者のタブレットの資料も発表者と同じページになる。会議参加者はタブレット画面ごとにメモをすることもできる。
- ・レーザーポインタという機能で発表者が資料に線や印を書き込むと、参加者の資料にも瞬時に反映される。書き込んだ線はしばらく残るので、説明している場所が一目で分かる。
- ・電子資料内の文字検索も可能。
- ・タブレットで写真を撮影し、資料に貼り付け共有することで会議室にいながら現場の状況が把握できる。
(例)：災害時、道路管理、作物育成状況など

■効果

- ・用紙代、印刷コスト、資料作成に係る行政側、事務局側のマンパワーの削減。
- ・会議資料に誤りが見つかった場合の、差し替えが容易。

■課題

- ・電子資料を多用するので、現在使用しているアプリケーションの見直しが必要。
- ・タブレット本体の耐用年数は4～5年のため、定期的な更新経費が発生。

■議員報告 (一部抜粋)

○菅 敏範 副議長

- ・タブレット操作は比較的容易。システム導入経費や更新等に当たっての財政負担、経費削減効果の総合的な検討が必要。

○吉岡 信弘 議員

- ・ICT化の一端であるペーパーレス化は時代の流れ。
実際には町内業者への影響もあることから、導入に当たってはどれだけの効果が生まれるのか十分な検討が必要。

○船戸 健二 議員

- ・当議会においては現在、資料の送付やスケジュール管理等でタブレットを使用しているが、定着しているとは言えない。
他市町村議会の先進事例の検証や、費用対効果も含めた本質的な議論が必要。



質の高い議会をめざ

7月2日、3日の2日間、札幌市で議員の資質の向上と議会活動の

議員研修会

7/2 北海道町村議会議長会 議員研修会

(札幌コンベンションセンター)

■概要

「札幌が東京より暑くなる!? ～加速する気候変動～」

講師：気象予報士 森 朗氏

- ・地球温暖化が加速し、その影響で異常気象が頻発。農業、漁業においては生産地域の変化、魚種の変化といった影響を受けている。
- ・気候変動に対しては二酸化炭素の排出量を減らし、温暖化の進行を抑制することが大切。風力発電、太陽光発電といった再生可能エネルギーへの転換や、個人の意識改革が必要。

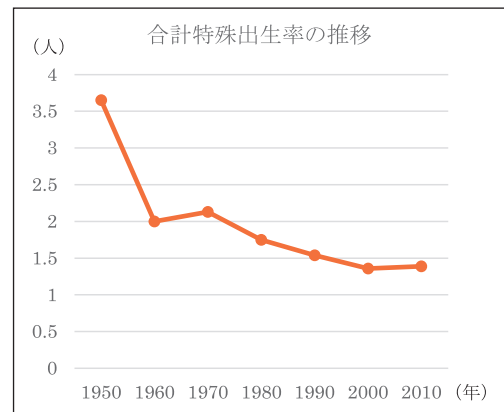


「人口減少と市町村の重要性・

民主主義について自省を含めての所感」

講師：元衆議院議長 大島 理森氏

- ・前年の合計特殊出生率が初めて戦後最低になったのは平成2年（1990年）だが、国の政治はそれを取り上げていなかった。そうした対応の不足が現在の人口減少問題へとつながったのでは、との考察であった。
- ・他にも、現在の世界情勢や講師の実体験である中央政治、政局の裏話など興味深い講演をいただいた。



■議員報告 (一部抜粋)

○齊藤 徹 議長

- ・2015年には人口の減少を食い止めるために、人々の協調活動を活発にして地方政治を進めていくことが求められた。
- ・今後も取り組んでいくためには、地方議員一人一人が自立の心を持ちながらコミュニティをつくり、多面的に地方政治を進めていく必要があると考える。

○播間 章浩 議員

- ・大樹町においても漁業の不漁が続いていることから、安定した水産資源のための対策は急務である。
- ・ブルーカーボンの取組については未知の分野であり興味深いものであった。

して — 委員会活動報告 —

解決に向けて調査を行い、町長等の執行機関に対し、
ために所管事務調査を行っています。

※内容を要約して掲載しています。

経済常任委員会 | 所管事務調査 (6/26)

調査目的

大樹町起業家支援事業の運用状況等について調査を行い、
現況を確認して今後の支援事業の在り方について検討する。

■概要

- ・当町において新たに事業活動を行う者、新規分野で行う者を支援し、産業の振興、商店街の活性化、雇用の促進による町の活性化が目的。
- ・平成27年度から事業を開始。現在2期目（1期5年）の最終年度。



■実績

- ・起業家支援事業…27件
- ・空き店舗等取得支援事業…3件
- ・空き店舗等活用支援事業…19件
- ・補助金の返還…令和元年度に1件、2年度に1件。過去5年間で不採択となったケースはなし。

■担当課への質疑・回答

Q.補助対象経費の詳細について。

A.右記表のとおり。

Q.過去3年の相談件数について、
担当課の判断によって事業が
適用されなかった事例はある
のか。

A.事業者や商工会から相談を受けた段階で、要綱と照らし合わせて明らかに該当しない場合は担当課の判断で適合とならない旨を伝えている。

事業名	内容
起業家等支援事業	事業所店舗等の建設及び改装費、設備・備品購入費、外構工事費、看板設置費
空き店舗等取得支援事業	店舗、工場、事業所、事務所等として営業を休止してから概ね1か月を経過した店舗物件等（土地を含む）の取得購入費
空き店舗等活用支援事業	店舗、工場、事業所、事務所等として営業を休止してから概ね1か月を経過した店舗物件等（土地を含む）の賃借料

■委員報告 (一部抜粋)

- ・複数の法人の役員の方が、その1つの法人で補助金を受けている場合、他の法人では申請ができない。しかし、原則的に交付対象者は事業所であるため矛盾している。厳格な資格要件を検討すべき。
- ・補助金交付後、任意の調査及び成果の報告が定められているが現在まで行われていない。年次ごとの事業報告を義務付け、場合によっては実態調査も実施すべき。

■まとめ

- ・新規分野での事業活動や空き店舗の活用、商店街の活性化という面で非常に効果的な事業である。
- ・今後さらに移住者、雇用の促進、企業誘致、従業員の定住化の支援が必要と想定されるため、3期目に向けて、法人事業者（役員兼務）、年齢制限等の支援対象者の見直しやソフト事業の補助対象経費に対して、より一層の手厚い支援を行うことが重要。全体的な視野で利用しやすく、わかりやすい新制度になることを期待する。

暮らしやすい町をめざ

議会の常任委員会では、町政の各分野における課題の具体的な政策や施策を積極的に提案する

総務常任委員会 | 所管事務調査 (7/24)

調査目的 町有地の未利用地、未利用施設、老朽施設の管理状況と今後の利用計画等を把握する。

■調査場所

○旧北保育園、青少年会館跡地、給食センター敷地、運動公園駐車場敷地、旧尾田小学校、尾田児童館、旧南保育園、老人アパート・老人と母子の家敷地、川南団地ユースタウン、旧石坂小学校（郷土資料館）の計10か所。

■調査報告

- ・旧保育園は経年劣化や目立った破損は見られず。一部耐震性の調査、改修が必要であるが多様な利活用が期待できる。
腐食が進み再利用・修繕が困難な施設もあり、取り壊しが急務な建物もある。(旧尾田小学校)
- ・一部未利用地では草木が群生。野生生物の住処となり被害も懸念されるため、町の適正な管理が必要である。(旧尾田小学校グラウンド)
- ・旧石坂小学校の体育館を行政区に貸し出しているが、管理体制に明確な決まりがなく、使用者の把握ができていない状況。行政区、使用者と協議し適切な体制が求められる。



■担当課への質疑・回答

Q.尾田児童館の現在の利用状況、今後の利用計画はあるのか。

A.今のところは何もない。町としての利用はあまり考えておらず、外部の方が使用したいのであれば相談を受け、地域にも説明し然るべき貸付料でお貸ししたいと考えている。
建物に関してはいずれ改修など伴うものもあるので、あと何年使うかは内部で検討していきたい。

■委員報告 (一部抜粋)

- ・備品台帳のように、施設ごとに状態を記録し管理する年次報告書が必要ではないか。
- ・担当課はどのような年度計画を立て管理を行っているのか体制が不透明。見回りの確認書類や決裁書類等で記録を残すといった適切な事務を求める。
- ・今回の調査において、定期的な環境整備ができておらず雑草が繁茂している状況が散見された。町有財産の周辺環境も適切に管理すべき。

まとめ

- ・各担当部署における所管する施設・施設用地の把握と管理に不十分なところが散見され、今後の利用計画も進んでいないことが明らかになった。
- ・今後存続すべき施設は定期的な保全管理計画を立て方向性を示し、老朽化し利用しない建物は町民への丁寧な説明と理解を得たうえで取り壊しを進める必要がある。第6期大樹町総合計画を基に慎重かつ迅速に協議を進めることを期待する。

— 委員会活動報告 —

広報広聴常任委員会 | 委員研修会 (8/20)

研修目的

議会だよりの編集に係る知識と技能の習得を行うため、北海道町村議会議長会 議会広報研修会に参加

ホテルポールスター札幌にて行われた議会広報研修会に委員3名が参加しました。

■講演内容

講師：一般社団法人自治体広報広聴研究所
代表理事・広報アドバイザー 金井 茂樹 氏

『読者に読まれる議会報の企画と編集』

- ・ 広報広聴活動の意義、読者を増やし議会に関心を持ってもらうためにすべきことなどについてご講演をいただいた。
- ・ 住民生活への影響を考慮し掲載する情報を取捨選択すること、文字数を抑えつつも具体的な見出しを意識すること、といった実用的な手法が多く述べられていた。



『議会広報クリニック』

- ・ 他町村にて発行されている議会報を例にあげ、先の講演にて学んだ手法をどのようにして活かすかご教示いただいた。
(対象町村…豊富町、雄武町、音更町、中札内村、本別町、別海町)
- ・ 講演内で実際に挙げられた改善点の他にも、レイアウトや内容において参考となる部分が多かった。

■委員報告

○播間 章浩 委員長

- ・ 議会の広報広聴活動については町民の声を把握、情報収集などの広聴部分と、課題解決への共感、参加という形で、お知らせのみではなく参加してもらう広報が重要であるとの話に共感。
- ・ 戦力的な広報についてはコストの問題もあり、どこまでやるかは悩ましいところである。



○菅 敏範 委員

- ・ 読者に親しまれ読まれる議会広報を作成することは基本であるが、講評を聞き簡単なことではないと痛感。
- ・ 委員会において改めて基本的な考え方の統一を図り、議会広報の紙面づくりに取り組むこと、委員会としての編集会議の充実を目指すことが大切。

○西山 弘志 委員

- ・ 今回の研修会から、議会広報を変えるときに目指すものは、住民目線でまちの声や地域の人の声が見やすく、読みやすく、分かりやすいものであることが学べて、大変参考になった。
- ・ 今回学んだ研修会での講義、資料などの内容をこれからの広報広聴活動に役立てていきたい。

今回の研修・所管事務調査で得た課題を今後の議会活動に活かし、より地域課題に即した質の高い議会運営を目指します。

一目でわかる 審議結果



全会一致の議案

第3回臨時会	令和6年度大樹町一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ2億8,033万7千円を追加。	原案可決
	令和6年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ27万円を追加。	原案可決
	財産の取得 ※1 大樹中学校校務用パソコン28台他1式を880万円で取得。	原案可決
第3回定例会	大樹町議会委員会条例の一部改正 委員会の委員長及び副委員長の選任方法の変更に伴う条例の一部改正。	原案可決
	令和5年度健全化判断比率 監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告。	報告済
	令和5年度資金不足比率 監査委員による審査の結果、いずれも良好であると報告。	報告済
	大樹町教育委員会委員の任命 委員に一戸勉氏を再任することに同意。	同意
	大樹町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正 水道法の一部改正を含む法律の公布に伴う条例の一部改正。	原案可決
	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更 晩成温泉改修工事のための計画変更。	原案可決
	令和6年度大樹町一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ9,797万7千円を追加。	原案可決
	令和6年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ1,725万9千円を追加。	原案可決
	令和6年度大樹町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ36万7千円を追加。	原案可決
	令和6年度大樹町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第2号） 収益的収入・支出それぞれ792万円を追加。資本的支出を33万円を追加。	原案可決
	令和6年度大樹町下水道事業会計補正予算（第1号） 資本的収入を867万円追加、資本的支出を965万7千円追加。	原案可決
	工事請負契約の締結 ※2 晩成温泉改修工事の請負契約を1億2,595万円で締結。	原案可決
	工事請負契約の締結 ※2 晩成温泉周辺施設解体工事の請負契約を6,479万円で締結。	原案可決
	財産の取得 ※1 指名競争入札により公用車両1台を764万円で購入。	原案可決
	令和5年度大樹町一般会計決算認定 令和5年度歳入93億5,997万8,006円、歳出90億4,143万8,746円の執行について認定。	認定
	令和5年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算認定 令和5年度歳入7億5,113万3,157円、歳出7億4,779万6,250円の執行について認定。	認定
	令和5年度大樹町後期高齢者医療特別会計決算認定 令和5年度歳入1億344万3,431円、歳出1億295万5,216円の執行について認定。	認定

第3回定例会	令和5年度大樹町介護保険特別会計決算認定 令和5年度歳入7億3,083万1,097円、歳出7億1,955万3,955円の執行について認定。	認 定
	令和5年度大樹町介護サービス事業特別会計決算認定 令和5年度歳入4億1,287万7,986円、歳出3億8,388万6,574円の執行について認定。	認 定
	令和5年度大樹町水道事業会計決算認定 令和5年度歳入6億2,666万5,716円、歳出8億4,977万6,158円の執行について認定。	認 定
	令和5年度大樹町立国民健康保険病院事業会計決算認定 令和5年度歳入11億3,695万6,497円、歳出11億609万9,667円の執行について認定。	認 定
	令和5年度大樹町下水道事業会計決算認定 令和5年度歳入3億6,804万1,272円、歳出4億5,470万2,300円の執行について認定。	認 定
	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書 森林整備・治山事業予算の十分な確保、森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書を提出。	原案可決

※1：予定価格700万円以上の財産の取得は議会の議決が必要です！
 ※2：5,000万円以上の工事請負契約の締結は議会の議決が必要です！

YouTubeで議会上継をご覧いただけます！

本会議や予算・決算審査特別委員会はライブ中継しています。ライブ中継を見られない場合でも、録画中継をご覧いただけます。スマートフォンやタブレット、パソコンなどで気軽に議会上継を傍聴できますので、ぜひご利用ください。大樹町議会チャンネルをチャンネル登録すると、ライブ中継や録画中継が公開される際に通知を受け取ることができます。



次の定例会は 12月です

ぜひ気軽に傍聴にお越しください

詳細は議会事務局へお問い合わせください

TEL 6-5035

請願・陳情は どなたでもできます

議会は、住民の代表機関として、民意を広く行政に反映させるため、国や町の事務などに関する請願・陳情を処理することとなっています。

請願とは、憲法に規定された国民の権利として公の機関に対し、要望する行為で、紹介議員が必要となります。陳情も同様に扱われますが、紹介議員は必要ありません。

広報広聴常任委員会



委員長 播間 章浩
 副委員長 船戸 健二
 委員 菅 敏範
 委員 西山 弘志
 委員 吉岡 信弘
 委員 寺嶋 誠一

編集後記

現在、大樹町では約40年にわたり進めてきた宇宙のまちづくりが夢物語ではなく着々と宇宙のまちに向けて前進しています。宇宙のまちづくりと並行して道の駅の運営体制の見直しや公園の建設計画、図書館の建設など町民の皆様にとっても身近なまちづくりについて議論されています。

今後、大樹町内で進む計画についても町民の皆様にわかりやすい広報を心掛けていきたいと思っております。今後ともご愛読よろしくお願いたします。

委員長 播間 章浩